

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-141	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の番号・略号	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	家基050-903	家庭基礎 生活をともにつくる		

1 編修の基本方針

生活を主体的に創造する 生活マネジメント力の育成をめざす教科書

教育基本法等に示されている教育の理念をふまえ、生徒が未来社会を切り拓くために必要な資質・能力を確実に育成して、生涯を通して「生きる力」に必要な家庭科の知識・技術の習得をめざすとともに、自立と共生を兼ね備えた自己の生活や社会を主体的に創造する実践力のある、心身ともに健全な人間の育成に寄与する教科書をめざしました。

共生力をそなえた 自立力

- 自己実現を志向して生活を主体的に創造する力をつけることを教科書全般にわたって配慮しました。
- 男女がともに理解し合い、協力し合って、これからの家庭や社会を築くことをめざす内容にしました。
- 子どもや高齢者、障がいがある人々とのかかわりや福祉について考え、ともに生きる生活を築くことをめざす内容にしました。

生活や社会をつくる 実践力

- 社会の変化に対応して自立した生活を創るために必要な基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる内容にしました。
- 歴史の中で培ってきた衣食住に関する生活文化を学び、自らその継承と創造の担い手になる内容にしました。
- 持続可能な社会をめざして、地球規模での環境保全と身近な生活とのかかわりについて考え、実践することをめざす内容にしました。

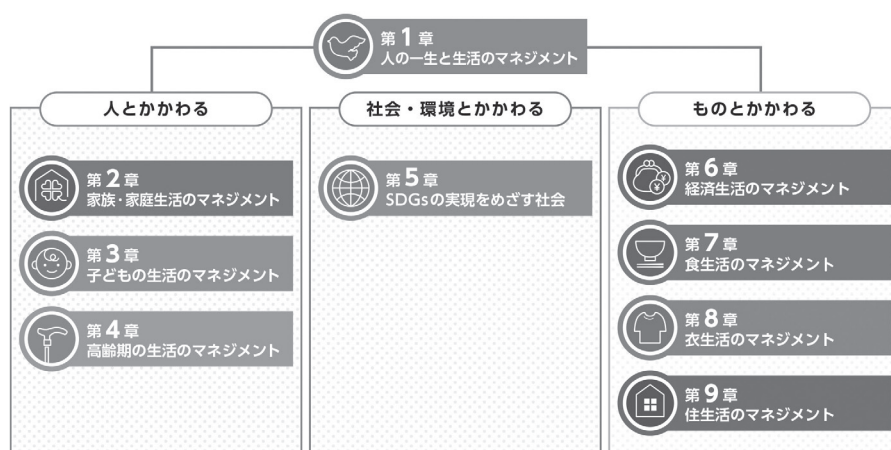
“もっともよい答え”を探し続ける 解決力

- 自ら生活における問題を見出し、課題を設定して、問題を主体的に解決する学習方法を重視するようにしました。
- 意思決定のプロセスを学ぶとともに、決定に際しての価値判断に必要な的確な資料等を豊富に用意し、適切な意思決定ができる力を身につける内容にしました。

かかわりを意識して 生活と向き合う力

- 生活を「人とのかかわり」「ものとのかかわり」「社会・環境とのかかわり」という3つの空間軸からとらえられるようにしました。
- 3つの空間軸に「人の一生」という時間軸を通し、家庭科の見方・考え方を基盤にして、生涯、生活と向き合っていける力を身につけられるよう配慮しました。

●教科書の構成



図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	●家庭科がフィールドとする「生活」というもののとらえ方、生活の営みにかかわる見方・考え方、学習を通して身につけていく力など、家庭科を学ぶことの意義についてわかりやすく解説しました。(第1, 2号)	巻頭⑤～⑥
	●SDGs, Better Life Index, well-beingといった世界の潮流を紹介し、家庭科が生活にとどまらず、世界的な課題と大きく関係していることを理解できるようにしました。(第1, 5号)	巻頭⑥, ⑧
	●生活課題とその解決について、生活資源、問題の種類や解決手順の例示によってわかりやすく示し、今後の学習や生活にいかせるようにしました。(第2号)	巻頭⑨～⑩
第1章 人の一生と 生活の マネジメント	●人のライフステージと発達課題および自分をみつめ、人生を展望することを取り上げました。(第2号)	p. 2～3
	●青年期の特徴と課題について取り上げ、今の自分と将来の自分について展望できるようにしました。(第2号)	p. 4～5
	●自立の種類と目標を示すとともに、生命への責任、共生と多様性、持続可能性との関係を示し、自立の社会的側面についても意識できるようにしました。(第2, 3号)	p. 6～7
	●主体的な人生を築くためには意思決定が必要なことと、適切な意思決定をおこなう方法について取り上げました。(第2号)	p. 8～9
	●ライフスタイルの選択について、時間、職業選択、役割などの要素と関連づけて取り上げました。(第2, 3号)	p.10～11
第2章 家族・家庭生活 のマネジメント	●現代の家族のようすについて取り上げました。(第1号)	p.16～17
	●家族の人間関係と家族に起こる問題とともに、コミュニケーションの重要性について取り上げました。(第1, 2号)	p.18～19
	●家庭の機能、家庭の機能の社会化の進展について取り上げるとともに、家庭生活と職業生活のバランスについて取り上げました。(第2, 3号)	p.20～21
	●家族・家庭に関する法律を取り上げ、法律の視点から家族・家庭について考えられるようにしました。(第1, 2, 3号)	p.22～25
	●男女共同参画社会、ダイバーシティの実現をめざす家庭と社会の創造について取り上げました。(第3号)	p.26～27
第3章 子どもの生活の マネジメント	●子どもの時期の人生における位置づけや大切さについて取り上げました。(第2号)	p.32～33
	●子どもの成長・発達と母体の健康、妊娠・出産において、生命の尊さを取り上げました。(第1, 4号)	p.34～35
	●子どもの成長・発達のようすについて取り上げました。(第1号)	p.36～39
	●保育において基本的生活習慣、社会的生活習慣を身につけることとともに、家庭保育と集団保育の果たす役割を取り上げました。(第2号)	p.40～41
	●子どもの遊びの発達、児童文化財について取り上げました。(第5号)	p.42～43
	●子どもの心身の特徴、健康と安全、課題について取り上げました。(第1号)	p.44～45
	●子育てにおける親の果たす責任とともに、子育てから得られるものや自分の人生とのかかわりについて取り上げました。(第2, 3号)	p.46～47
	●子どもの人権と福祉について具体的に取り上げました。(第3号)	p.48～51
	●子どもとのふれあい方について取り上げました。(第1号)	p.52～53

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第4章 高齢期の生活の マネジメント	●高齢期の人生における位置づけや大切さについて取り上げました。(第2号)	p.58～59
	●高齢期の心身の特徴、健康と課題について取り上げました。(第1号)	p.60～61
	●高齢者の生活のようすや社会とのかかわり、活躍のありよう、高齢者福祉の理念と理念を実現するさまざまな施策を取り上げました。(第2, 3号)	p.62～63
	●高齢者等の介護には、その人らしさを尊重する支援が必要であり、その方法について具体的に取り上げました。(第2, 3号)	p.64～65
	●これから的高齢社会について取り上げました。(第3号)	p.66～67
	●高齢者の日常生活を支える介助の方法について取り上げました。(第1号)	p.68～69
第5章 SDGsの実現を めざす社会	●生活の問題と課題、リスクについて取り上げるとともに、共生社会の一員としてのあり方、地域共生社会とボランティア活動、ノーマライゼーションやユニバーサルデザインの考え方などについて取り上げました。(第2, 3, 4, 5号)	p.74～75
	●セーフティネットや地域福祉など、生活を社会全体で支えるしくみについて取り上げました。(第3号)	p.76
	●社会福祉と社会保障について具体的に上げるとともに、「多様性」を認め合える社会をめざすことの大切さと実現するための法律や制度について取り上げました。(第3号)	p.77～79
	●環境保全について地球規模で考え、身近なところから行動することを取り上げました。(第4号)	p.80～81
	●環境保全の視点からライフスタイルや生活を改善することを取り上げました。(第4号)	p.82～83
	●持続可能な社会をめざす環境基本法やプラスチック資源循環法などの法律を取り上げながら、それを実現していくのは、私たち一人ひとりであることを意識できるようにしました。(第4号)	p.84～85
第6章 経済生活の マネジメント	●経済的に自立すること、働くことについて具体的に取り上げました。(第2号)	p.90～91
	●家計と社会のかかわりについて取り上げました。(第2号)	p.92～93
	●生活上のリスクへの対応、家計管理と資金管理、金融商品や投資など、生涯を見通した経済計画の重要性について具体的に取り上げました。(第1, 2号)	p.94～95
	●キャッシュレス社会の進展にともなう購入方法や支払い方法の多様化について具体的に取り上げました。(第1, 2, 3号)	p.96～97
	●消費者信用と多重債務、借金について具体的に取り上げました。(第3号)	p.98～99
	●契約について、18歳成人との関係を重視しながら取り上げました。(第1, 2号)	p.100～101
	●消費者問題について、社会背景、法律、悪質商法の種類など具体的に取り上げました。(第1, 2, 3号)	p.102～103
	●消費者の自立と、それを支援する消費者保護と法律について取り上げました。(第1, 3号)	p.104～105
	●生活情報と情報を判断するときに必要な能力について取り上げました。(第1号)	p.106～107
	●消費者の権利と責任ある行動について取り上げました。(第3号)	p.108～109
	●資産形成と投資について、必要な視点や情報を取り上げました。(第3号)	p.110～111

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第7章 食生活の マネジメント	●健康な体を養うために食事の役割と生活リズムの関係を取り上げました。(第1号)	p.116～117
	●1日の食生活にそって課題をあげながら、食を見直す視点とその大切さを取り上げました。(第1号)	p.118～119
	●栄養素と食品と食事の関係について、高校生に必要な栄養素量や食事量と関連させて取り上げるとともに、ライフステージに応じた食生活において栄養バランスのとれた食事が重要であることを取り上げました。(第1号)	p.120～125
	●栄養素と食品の関係について、調理性とかかわらせて取り上げました。(第1号)	p.126～143
	●食品の選択、食品表示、食中毒への対応など、食の安全を自ら維持する必要性と技能について取り上げました。(第1号)	p.144～149
	●食生活と環境について、循環・資源・調和の視点から取り上げました。(第4号)	p.150～151
	●健康の維持を目的に食事を計画する意味と方法について具体的に取り上げました。(第1号)	p.152～155
	●食事をつくるのに必要な知識や技術について、具体的に取り上げました。(第1号)	p.156～163
	●主食、主菜、副菜、汁物と栄養素、食品の関係をつかんで、実生活にいかせるような実習題材を取り上げました。(第1号)	p.164～171
第8章 衣生活の マネジメント	●人と被服のかかわり、現代の衣生活の状況について取り上げました。(第1号)	p.176～177
	●快適な生活を支える被服の機能について健康維持、自己表現、社会文化的背景とのかかわりにおいて取り上げるとともに、ライフステージとの関係について取り上げました。(第1号)	p.178～180
	●被服材料と性能について科学的に取り上げました。(第1号)	p.181～183
	●被服による事故や健康障害などについて具体的に取り上げ、被服の安全や衛生を自ら維持する必要性と技能について取り上げました。(第1号)	p.184～185
	●衣生活を計画的に営むことについてSDGsと関連づけて取り上げました。(第4号)	p.186～187
	●被服の管理を効率的かつ科学的に営む視点について取り上げました。(第1号)	p.188～189
	●衣生活と環境について循環・資源・調和の視点から取り上げました。(第4号)	p.190～191
	●環境問題の解決に寄与でき、実生活にいかせる小物製作題材を取り上げました。(第1号)	p.192～193
第9章 住生活の マネジメント	●住まいの機能と住まい方について具体的に取り上げました。(第1号)	p.198～199
	●住文化の成り立ちを住様式の変遷等をふまえて取り上げました。(第5号)	p.200～201
	●住空間について、ライフスタイルやライフステージとの関係から考え、具体的にイメージできるようにしました。(第1号)	p.202～203
	●快適で健康な住生活について取り上げました。(第4号)	p.204～205
	●事故や犯罪、災害などの具体的事例をあげながら、住の安全を自ら維持する必要性と技能について取り上げました。(第1号)	p.206～207
	●環境保全につながる住生活の管理について取り上げました。(第4号)	p.208～209
	●住環境とまちづくりについて、地域社会の一員としてのありようを具体的に取り上げました。(第3, 4, 5号)	p.210～211
巻末	●職業および生活との関連を、キャリア、ワーク・ライフ・バランス、自己実現の視点から取り上げました。(第2号)	p.217
	●自分らしい生き方のライフプランについて取り上げました。(第2号)	p.218～219
	●家庭科で習得した知識や技術を活用し、よりよい生活を築くためにホームプロジェクトを、よりよい地域社会を築くために学校家庭クラブ活動を取り上げ、地域社会と連携して活動することを取り上げました。(第3号)	p.220～223

1 ライフプラン・生活マネジメントと学習をリンクさせる展開

家庭科の最終到達目標であるライフプランの立案能力および生活マネジメント能力の獲得を確実なものにするため、各章末に課題を設定し、各学習のまとめとともに記録を残していけるようにし、最後に、記録を振り返りながら、一生涯を通したライフプランを立てる総まとめの課題に取り組んで、学習を総括できるようにしました。(第1, 2号)

- ▶例：p.12～13 Try！ライフプラン 人生の主人公になろう
p.29（各章末） Try！生活マネジメント
p.217～219 Try！ライフプラン 人生の設計図をつくろう

2 金融教育との関連づけ

生涯を通して確かな生活を築くために必要な経済計画について、資産形成と投資を軸に多面的・具体的に取り上げ、金融教育の充実をはかりました。(第2号)

- ▶ p.110～111 資産形成と投資

3 キャリア教育との関連づけ

各章とびらで、学習分野に関連する仕事や活動をする人のインタビューを掲載し、生徒が人生や仕事について考える参考になるような特集を掲載しました。また、各章末で、学習分野に係る仕事や資格の例を紹介するとともに、実際に仕事を探すときのアドバイスを掲載し、キャリアについて具体的に考えられるようにしました。(第2号)

- ▶例：p. 1（各章とびら）# Career
p.14（各章末）お仕事紹介・キャリアコンサルタントによる仕事探しのアドバイス

4 環境教育，SDGs との関連づけ

各学習とSDGsを関連づけられるように、右ページにSDGsアイコンを配し、学習と関連するものを色づけすることで、生活や学習が世界的な課題の解決とつながっていることを意識できるようにしました。(第4, 5号)

- ▶例：p.5 SDGs マーク

5 応用力を試す実践課題

各章末に設定した実践課題「SKILL UP」は、学習で獲得した知識・技能を応用して解決する課題を設定し、実生活での応用力があるかを試せるようにしています。(第2, 3, 4, 5号)

- ▶例：p.28 SKILL UP

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-141	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の番号・略号	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	家基050-903	家庭基礎 生活をともにつくる		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の要点がつかみやすい見出し

学習内容を的確につかみ、要点整理がしやすい見出しを工夫しました。

2 学習のポイント

学習のはじめに自分の学習計画が立てられるよう、大項目の下に「学習のポイント」を示しました。

3 授業のユニバーサルデザイン

本文では「ふりがな」を多くふり、留学生など日本語に不慣れな生徒も読むことができるように配慮しました。

図表については、カラーユニバーサルに配慮しました。文字はユニバーサルデザイン書体を使用し、可読性を高めました。

4 環境教育、SDGs との関連づけ

各学習と SDGs を関連づけられるように、右ページに SDGs アイコンを配し、学習と関連するものを色づけすることで、生活や学習が世界的な課題の解決とつながっていることを意識できるようにしました。

5 図表・側注・Column

本文のエビデンスや背景、補足等をする「図表」、本文中の用語解説をする「側注」、実生活で話題になっていることを取り上げた読み物「Column」で、理解を促し、学習を深める工夫をしました。

③ 共働き世帯の推移 *1 *2 *3

Column

6 数々の充実した実践課題

学習を身近にし、学ぶ意味に気づき、実践的・主体的・発展的に学習を深めることができるように実践課題を充実させました。

1 家計と経済生活

「経済的に自立するって、どういうこと? 一人暮らしの生活費、知ってる?」

Pick up! 高校卒業後、一人暮らしを始めることになる。高校時代にマネージメントを学ぶ、自分のライフスタイルを定めて、お金のやりくりをシミュレーションしてみよう!

Active Learning! 家計簿をみる、お金の動きを把握しよう!

求人をしてみよう!

① 経済的な自立

住まい、食べるもの、着ているものなど、私たちの日々の生活の隅々一つひとつに、お金が必要となる。自分が必要なお金を手に入れる「収入を得る」方法と、お金をうまく使い、管理する方法を知ることは「**経済的に自立**」という、経済的に自立することは、「自分の生活を何に使うか」を決めることができる」といえる。経済的に自立すること、それは、一人暮らしを始めるための第一歩である。

会社などに勤めた場合にはいくらかの給与を得られるだろうが、生活するために毎月いくらかのお金が手に入る。1か月あたり必要な金額を知り、それを毎月手取りの収入より得られる人は限られている。また、どのような生活をするかにより必要金額は異なる。一人暮らしをする場合には住むところが重要になる。どのような住居に住みたいかを考え、あなたが住みたいかもしれない地域の家賃を調べてみよう。

② 収入と支出、住居費と家賃の割合

収入と支出のバランスを把握しよう。収入と支出のバランスを把握しよう。収入と支出のバランスを把握しよう。

③ 共働き世帯の推移

共働き世帯の推移は、社会が変化する中で重要な課題の一つである。共働き世帯の増加は、社会の経済活動に大きな影響を与える。共働き世帯の増加は、社会の経済活動に大きな影響を与える。

④ 働く」ということ

将来、どのような仕事につきたい。どのような働き方をするか。あなたは考えているだろうか。企業や職種だけでなく、働き方にも関心がある。企業や職種だけでなく、働き方にも関心がある。

⑤ 働く」ということ

働くことは、社会で生きていくための重要な手段である。働くことは、社会で生きていくための重要な手段である。働くことは、社会で生きていくための重要な手段である。

⑥ 働く」ということ

働くことは、社会で生きていくための重要な手段である。働くことは、社会で生きていくための重要な手段である。働くことは、社会で生きていくための重要な手段である。

▲ p.90 - 91 第6章 経済生活のマネジメント 1 家計と経済生活

7 家庭科英単語

左ページ下に「家庭科英単語」を例示しました。本文に登場するキーワードを中心に英単語を紹介しています。

家庭科英単語

8 振り返り

右ページ下に「振り返り」を例示しました。「理解しておきたいこと」(知識・技能)、「考えをまとめて表現できるようにしたいこと」(思考・判断・表現)など、学習成果をはかるめやすを提示しています。

振り返り

Pick up!

Active Learning!

Can you do it?

SKILL UP

* 実践課題の種類 *

● **Pick up!** 小・中学校までの知識・技能の確認、生活や社会で起こる事象と結びつけて自分の考えをまとめる課題、グラフや写真から考察してみる課題など

● **Active Learning!** 学習したことを応用して取り組む課題

● **Can you do it?** 将来を見据えて習得しておきたい技能の習得をめざす課題

● **SKILL UP** 学習で獲得した知識・技能を応用して解決する課題

9 ライフプランを通して学習をまとめる構成

「ライフプラン」「生活マネジメント」と学習をリンクさせ、ライフプランの立案を通して学習のまとめができるようにしました。各章末で学習後に記録を書きため、それをもとに、学習の総まとめとして生涯を通したライフプランを立てる課題に取り組み、学習を総括できるようにしています（主体的に学習に取り組む態度）。

1 Try! ライフプラン 人生の主人公になろう

第1章の学習を総括しながら、「生活設計」と「生活マネジメント」について解説し、生活設計をする上で考えておきたいこと、これからの学習との結びつけ方などを解説しています。

2 Try! 生活マネジメント

p.12 - 13 を参考にしながら、各章末で学習のまとめ、生活設計に必要な情報の記録、ホームプロジェクトのアイデアをまとめられるようにしています。

3 Try! ライフプラン 人生の設計図をつくろう

家庭科の学習の総まとめに、50年後までを見通した具体的なライフプランを立てます。自分のノートやプリント、各章末の「Try! 生活マネジメント」の記録などを活用し、家庭科の最終到達目標である、生活設計力と生活マネジメント力を総合的に確認・評価できるようにしています。

10 金融教育の充実

生涯を通して確かな生活を築くために必要な経済計画について、資産形成と投資を軸に多面的・具体的に取り上げたページを設け、金融教育の充実をはかりました。

Can you do it? 資産形成と投資

「Can you do it?」は、読者の皆さんが、資産形成と投資について、自分自身の生活や将来の目標に合わせて、実践できるような内容になっています。

【資産形成】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【投資】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

Can you do it? 資産形成と投資

「Can you do it?」は、読者の皆さんが、資産形成と投資について、自分自身の生活や将来の目標に合わせて、実践できるような内容になっています。

【資産形成】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【投資】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

▲ p.110 - 111 第6章 経済生活のマネジメント Can you do it? 資産形成と投資

12 小中高の積み重ねが見えるもくじ

小学校・中学校で学習してきたこと（学習指導要領の骨子抜粋）を、本書のもくじと合わせて掲載しました。小・中で学習してきたことを確認し、高校で学ぶことや家庭科の系統性が見えるよう配慮しました。

巻頭 1 もくじ ▶

1 Try! ライフプラン 人生の主人公になろう

夢や目標、将来の生活設計について、この単元を通して、自分自身の人生を設計する力を身につけてください。

【夢や目標の設定】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【夢や目標の実現】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

2 Try! 生活マネジメント

夢や目標の実現に向けて、生活設計の力を身につけてください。

【生活設計の力】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【生活設計の実践】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

3 Try! ライフプラン 人生の設計図をつくろう

夢や目標の実現に向けて、生活設計の力を身につけてください。

【生活設計の力】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【生活設計の実践】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

▲ p.12 - 13 第1章 人の一生と生活のマネジメント Try! ライフプラン 人生の主人公になろう

▲ 例: p.55 第3章 子どもの生活のマネジメント Try! 生活マネジメント

3 Try! ライフプラン 人生の設計図をつくろう

夢や目標の実現に向けて、生活設計の力を身につけてください。

【生活設計の力】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【生活設計の実践】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

▲ p.217 - 219 Try! ライフプラン 人生の設計図をつくろう

4 Try! ライフプラン 人生の設計図をつくろう

夢や目標の実現に向けて、生活設計の力を身につけてください。

【生活設計の力】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【生活設計の実践】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

11 キャリア教育の充実

章とびらでは仕事や活動をする人のインタビューを、章末では仕事や資格の紹介と仕事探しのアドバイスを掲載。キャリアについて具体的に考えられるようにしました。

お仕事紹介

「お仕事紹介」は、読者の皆さんが、仕事や活動について、自分自身の生活や将来の目標に合わせて、実践できるような内容になっています。

【仕事や活動の紹介】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【仕事や活動の実践】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

高齢期の生活のマネジメント

「高齢期の生活のマネジメント」は、読者の皆さんが、高齢期の生活について、自分自身の生活や将来の目標に合わせて、実践できるような内容になっています。

【高齢期の生活のマネジメント】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

【高齢期の生活の実践】とは、将来の生活や目標のために、現在から少しずつお金を積み立てていくことです。例えば、毎月一定額を積み立てる「積立投資」や、毎月一定額を積み立てる「積立投資」などがあります。

▲ 例: p.56 第3章 お仕事紹介 / p.57 第4章とびら #Career

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
もくじ（高校で学習する内容／小学校・中学校で学習したこと）	(1) 科目の性格（小・中・高等学校の系統性）	巻頭①～④	2
家庭科を学ぶということ	1 目標 内容の取扱い (1) ア	巻頭⑤～⑥	
家庭科を学ぶとこんな力がつく！～先輩たちの声～		巻頭⑦	
SDGs と家庭科		巻頭⑧	
よりよい生活をつくるとは？…生活問題の解決		巻頭⑨～⑩	
本書の使い方		巻頭⑪～⑫	
学習方法		巻頭⑬	
第1章 人の一生と生活のマネジメント		A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・家庭 内容の取扱い (1) ア, イ	
1 生涯発達とライフステージ	p. 2～3		
①生涯発達と人のライフステージ			
②今の自分が、未来の自分をつくる			
2 青年期の課題と自立	p. 4～7		
①青年期を生きるあなたの課題			
②自立の達成をめざそう			
3 意思決定とライフスタイル	p. 8～11		
①人生は意思決定の連続			
②ライフスタイルを選択しよう			
Try！ライフプラン 人生の主人公になろう	p.12～13		
お仕事紹介	p.14		
第2章 家族・家庭生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 青年期の自立と家族・家庭 内容の取扱い (1) ア	p.15～30	4
1 現代の家族・家庭		p.16～21	
①家族とは何だろうか			
②家族の人間関係と家族の問題			
③家庭の機能と家事・職業労働			
2 家族・家庭に関する法律		p.22～25	
①家族・家庭に関する法律の成り立ち			
②現在の法律が定める家族・家庭			
3 家族・家庭とダイバーシティ		p.26～27	
①多様な生き方が選べる社会へ			
②家族・家庭からめざすダイバーシティ			
SKILL UP／Try！生活マネジメント／お仕事紹介	p.28～30		
第3章 子どもの生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育 内容の取扱い (1) ア, ウ／(2) ア	p.31～56	8
1 子どもの誕生		p.32～35	
①子どもの時期の大切さ			
②子どもが生まれるということ			
2 子どもの成長・発達		p.36～39	
①乳児の成長・発達			
②幼児の成長・発達			
3 子どもの生活と保育		p.40～45	
①子どもの生活へのかかわり			
②子どもの生活と遊び			
③子どもの健康と安全			
4 子育てと子どもが育つ環境		p.46～51	
①親の役割と責任			
②子どもの人権			
③なぜ、少子化は問題なのか？			
④子育てを支援する			
Can you do it？子どもとふれあおう	p.52～53		
SKILL UP／Try！生活マネジメント／お仕事紹介	p.54～56		
第4章 高齢期の生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉 内容の取扱い (1) ア, ウ／(2) ア	p.57～72	5
1 高齢期という時期		p.58～61	
①高齢者を取り巻く社会			
②高齢者の心身の特徴			

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
2 高齢期の生活を支える高齢者福祉	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉 内容の取扱い (1) ア, ウ／ (2) ア	p.62 ～ 65	(5)
①高齢者福祉の考え方			
②介護保険のしくみと理解			
3 これからの高齢社会		p.66 ～ 67	
①日本の高齢化の姿			
②地域・社会がつくる高齢者福祉			
Can you do it ? 高齢者の介助を体験してみよう		p.68 ～ 69	
SKILL UP / Try ! 生活マネジメント／お仕事紹介	p.70 ～ 72		
第5章 SDGsの実現をめざす社会	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (5) 共生社会と福祉 C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境	p.73 ～ 88	5
1 とともに生き、ともに自立する			
①家族・家庭を支える福祉		p.74 ～ 75	
②共生と共生社会			
2 生活と社会のセーフティネット			
①4つのセーフティネットと地域福祉		p.76 ～ 79	
②「安心」と「安定」を支える社会保障			
③「多様性」を合いことばに			
3 環境と調和のとれた生活		p.80 ～ 81	
①生活改革を始めよう			
②地球の未来のために			
4 持続可能な社会の実現をめざして		p.82 ～ 85	
①環境負荷を意識する			
②持続可能な社会を築こう			
SKILL UP / Try ! 生活マネジメント／お仕事紹介	p.86～88		
第6章 経済生活のマネジメント	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 内容の取扱い (1) ア, オ／ (2) ウ	p.89 ～ 114	8
1 家計と経済生活			
①経済的な自立		p.90 ～ 95	
②家計の構造と社会			
③経済計画とリスク管理			
2 現代の消費生活			
①購入・支払い方法の多様化		p.96 ～ 99	
②消費者信用の利用と管理			
3 消費者問題の現状と課題		p.100 ～ 105	
①18歳で変わる消費と契約			
②多様化する消費者トラブル			
③消費者保護の法律としくみ			
4 消費者の権利と責任		p.106 ～ 109	
①情報社会を生きる			
②よりよい消費行動と意思決定			
Can you do it ? 資産形成と投資	p.110 ～ 111		
SKILL UP / Try ! 生活マネジメント／お仕事紹介	p.112 ～ 114		
第7章 食生活のマネジメント	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康 内容の取扱い (1) ア, エ／ (2) イ	p.115 ～ 174	20
1 食生活の成り立ち			
①なぜ食べるのか		p.116 ～ 119	
②食生活を見直そう			
2 栄養と食品			
①体に必要な栄養素と食品			
②炭水化物の働きと食品			
③脂質の働きと食品			
④たんぱく質の働きと食品			
⑤無機質の働きと食品			
⑥ビタミンの働きと食品			
⑦調味料・香辛料・嗜好品・加工食品		p.120 ～ 137	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
● Let's Cook	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康 内容の取扱い (1) ア, エ / (2) イ	p.138 ～ 143	(20)
3 安全で環境に配慮した食生活		p.144 ～ 151	
①食品の選択と購入			
②食品の保存と衛生			
③環境に配慮した食生活		p.152 ～ 155	
4 健康につながる食事計画 (献立)			
Can you do it ? 献立づくりに挑戦 !			
5 調理の基本を学ぼう		p.156 ～ 163	
①調理の基本的な知識・技能			
②調理の目的を考える			
●調理の資料	p.164 ～ 171		
●調理実習 (和食／洋食／弁当／災害時)	p.172 ～ 174		
SKILL UP / Try ! 生活マネジメント／お仕事紹介	p.175 ～ 196	6	
第8章 衣生活のマネジメント	p.176 ～ 177		
1 衣生活を見つめよう			
①なぜ人は被服を着るのか			
2 着ごこちのよい被服	p.178 ～ 185		
①被服の機能と快適性			
②被服材料と性能			
③被服の安全と衛生	p.186 ～ 193		
3 衣生活の計画と管理			
①被服計画			
②被服の管理	p.194 ～ 196		
③環境に配慮した衣生活	p.197 ～ 216	6	
●製作実習 (エコバッグ)			
SKILL UP / Try ! 生活マネジメント／お仕事紹介			
第9章 住生活のマネジメント			p.198 ～ 203
1 住生活の成り立ちと住空間			
①住まいの機能と住まい方			
②日本の住文化と継承			p.204 ～ 207
③住む人の生活に合った住空間			
2 健康で安全な住生活			
①快適で健康な住生活			p.208 ～ 211
②安全に配慮した住生活			
3 よりよい住環境の実現をめざして			
①持続可能な住居	p.212 ～ 213		
②持続可能な住環境と地域社会	p.214 ～ 216		
Can you do it ? 家を借りてみよう !	p.217 ～ 223	2	
SKILL UP / Try ! 生活マネジメント／お仕事紹介	p.217 ～ 219		
Goal			
Try ! ライフプラン 人生の設計図をつくろう	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 内容の取扱い (1) ア, イ, ウ, カ	p.220 ～ 223	
ホームプロジェクトとスクールプロジェクト			
付録	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 B 衣食住の生活の自立と設計 C 持続可能な消費生活・環境	p.224 ～巻末	
子どもの発達のように		p.224 ～ 225	
人の一生にかかわる法律		p.226 ～ 227	
生活にかかわる法律		p.228 ～ 229	
食品成分表		p.230 ～ 237	
災害への備えと心がまえ		p.238 ～ 241	
教科書に掲載している二次元コード (QR コード) コンテンツ一覧		巻末	
		計	70